

機械強度の温度依存性

TPXは、220～240℃という高い融点を有していますので、高温多湿雰囲気下での使用が可能です。温度変化とともに機械強度が変化します。

以下に各特性の温度依存性をまとめました。

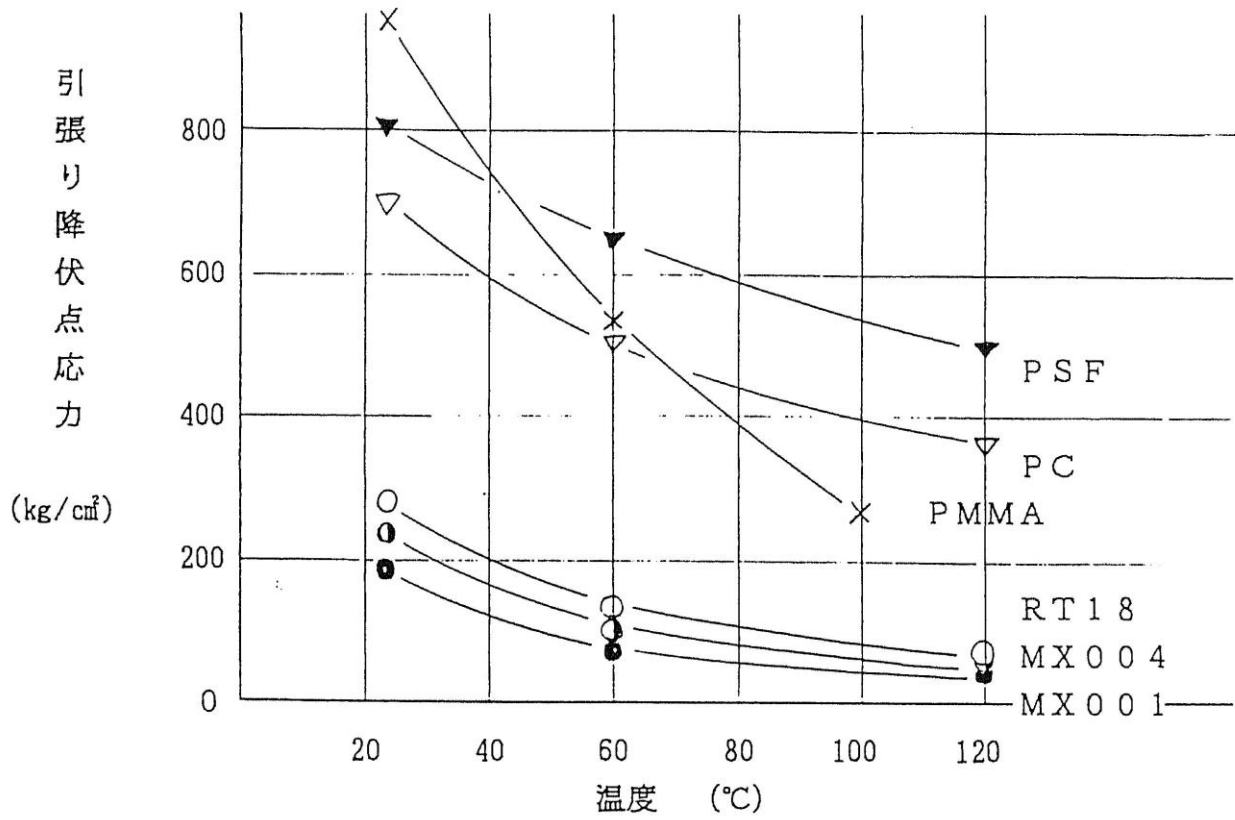
試料

TPX	RT18
	MX004
	MX001
PMMA	パラペットHR
PC	パンライトL1250
PSF	

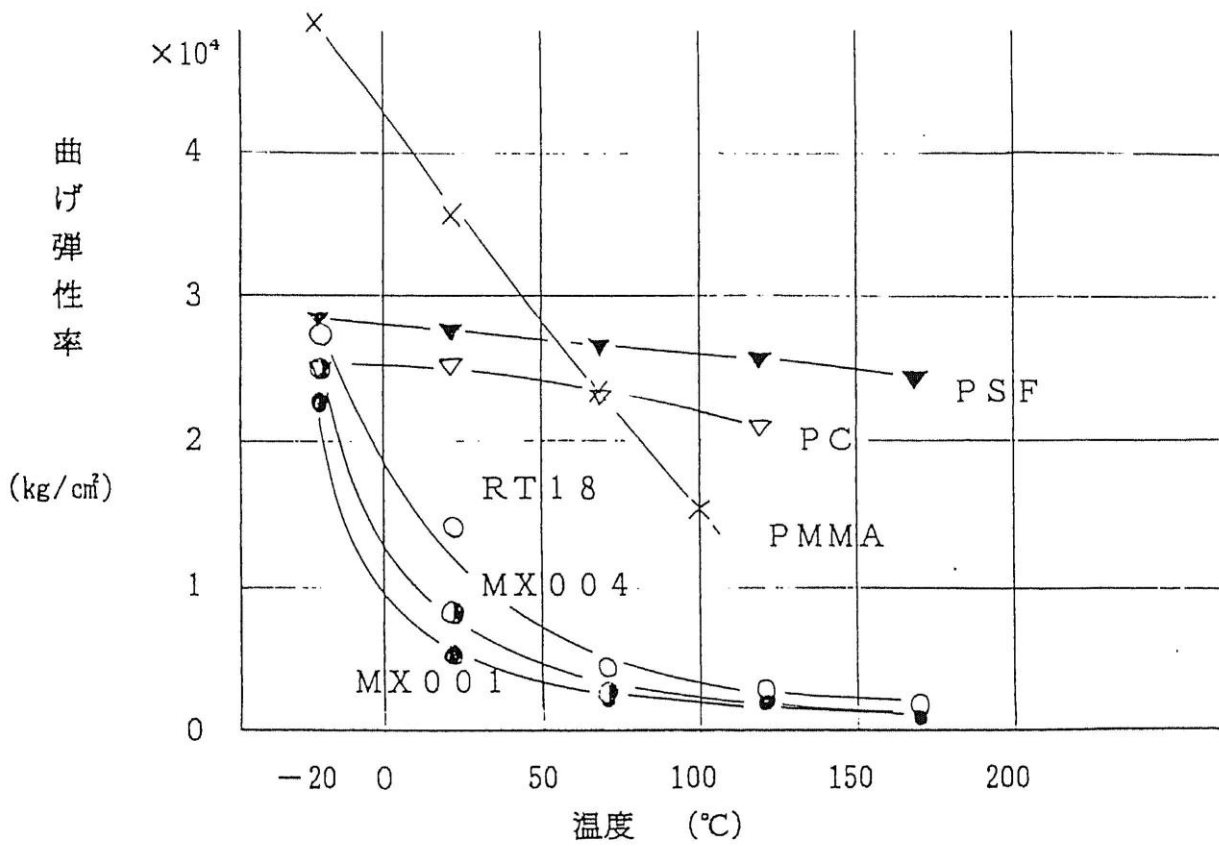
試験条件

- (1) 曲げ試験
 - 試験片 127×12.7×3.2mm
 - 試験速度 20mm/min
 - スパン間隔 48mm
- (2) 引張試験
 - 試験片 ASTM-IV型ダンベル
 - 試験速度 50mm/min

引張り降伏点応力 vs 温度



曲げ弾性率 vs 温度



曲げ強度 vs 温度

